

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成25年度 講義要目(シラバス)

科目名	防災・振動工学先端演習
英文名	Earthquake Disaster Mitigation
学部学科	先端科学技術研究科 先端技術創成専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	藤田 聡

目的概要	研究テーマの遂行あるいは研究・開発活動において必須となる手法や技術の習得に関する演習を実践活動を通じて行う。具体的には、実験計画(概略および詳細)立案方法の取得、実験手順・方法の習得、実験材料の取扱い方法の習得、実験機器や装置の操作方法の習得、実験データの収集方法や分析方法の習得、さらには安全管理に関する知識の習得などであり、安全にかつ効率良く研究を遂行するための知識を取得する事を目的とする。
教科書名	特に指定しない。実験に関する書籍や論文を学生が自ら検索するように指導し、それらを参考にさせる。
参考書名	
評価方法	実際の実験遂行の際に、「目的概要」に記載した観点からその習得度を総合的に評価する。具体的には、問題解決のために過不足無い実験計画が立案できているか、実験手順は効率良く行われているか、実験材料の取扱いは適切か、計測は精度高く行われているか、実験データ収集方法や分析は的確か、実験遂行上の安全対策は十分考慮できる計画を立案できているかなどを総合的に評価する。
テーマ・内容	<p>目的の趣旨に鑑みて、時系列に沿った授業計画をたてることは難しいが、本演習は以下のような項目から構成される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実験計画立案のための問題調査と分析</li> <li>2) 概略実験計画および詳細実験計画立案</li> <li>3) 実験手順・方法の計画と評価</li> <li>4) 実験材料・実験供試体の取扱いおよび設計</li> <li>5) 計測計画立案と計測装置取り扱い</li> <li>6) 実験データ収集と整理</li> <li>7) 実験データ分析と評価</li> <li>8) 実験遂行上の安全対策考慮</li> <li>9) 実験報告書と問題点解決のための分析力の醸成</li> <li>10) 学会論文報告</li> </ol>
E-Mail address	<a href="mailto:sfujita@cck.dendai.ac.jp">sfujita@cck.dendai.ac.jp</a>
履修上の注意事項・学習上の助言	特になし